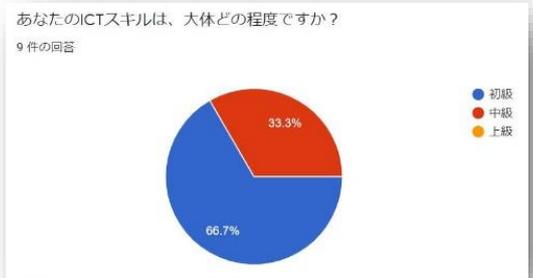


主催:ニセコ町教育委員会様

後志管内で開催したプログラミング研修会

ニセコ町で10名の方々に参加していただき開催！

- ◆今回は、後志管内ニセコ町にお邪魔させていただきました。後志は雪の多いところと聞いておりましたので、車で移動するにはなかなか大変かなと思っていましたが、今年の冬は雪も少なく、道路事情もよく、札幌から快適なドライブで今回の研修会場となったニセコ町立ニセコ小学校を訪問することができました。
- ◆今回の参加者の中には、中学校で技術科を担当している先生もいらっしゃるということで、中学校向けの内容も入れさせていただきました。具体的には「計測・制御」だけでなく新しい学習指導要領の技術科で取り入れられた双方向のあるプログラミングについても触れることにし、コンテンツをこちら側で作成し、参加者の皆様にご紹介しました。
- ◆今回の参加者の三分の一の方々は、ICTに関してそれなりに知識をお持ちの方々でした。中には、大学時代にプログラムを学んできたという先生もいらっしゃり、こちらの方が反対にいろいろと教えていただきたいと思うような参加者構成でした。



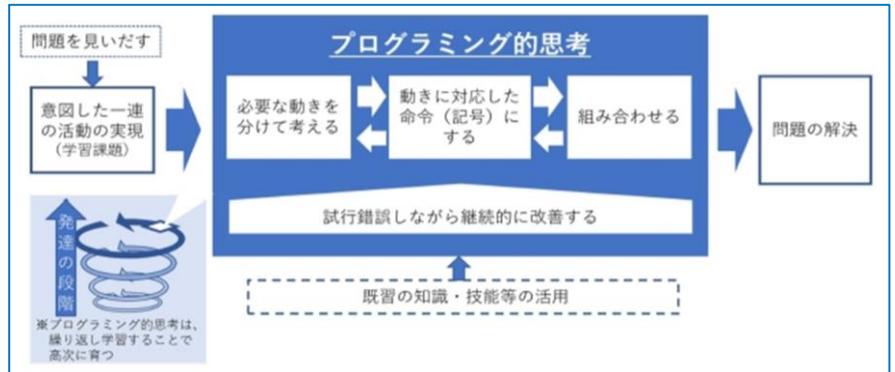
ニセコ町プログラミング教育研修会の概要

- 【場 所】 ニセコ町立ニセコ小学校
- 【日 時】 2020年2月12日(水)午後3時30分～5時30分(2時間)
- 【参加者】 ニセコ町立ニセコ小学校 8名 ニセコ町立ニセコ中学校 1名
ニセコ町教育委員会 1名 合計10名
- 【内 容】
 - ・プログラミング教育の授業づくり
 - ・プログラミング教育の教材について



- ◆まずライトボットというプログラミング教材を、約5分間実際に体験していただきました。これはどの会場でも最初に体験していただいています。ライトボットは、大変簡単なプログラミング教材です。ゲーム形式で各ステージをクリアしていきます。このライトボットを体験することで、「プログラミングとは一体何なのか」「プログラミング的思考とは何か」ということを体験的に理解してもらおうという意図で取り組んでもらっています。

- ◆「プログラミング的思考」は文部科学省発行の『プログラミング教育の手引き』には、右のような図で説明されていますが、いまいよくわからないという方もいらっしゃいます。そこで、実際にプログラミング教材を体験しながらご説明しています。

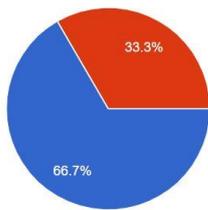


【引用】 文科省発行『プログラミング教育の手引き・第二版』から

★ライトボットでは、各ステージで明かりを点けるという問題を解決するために、ロボットの動きを細かく分解し、コマンドとして組み立て、試行錯誤しながら取り組むということをします。遊び感覚で楽しみながら、知らず知らずにプログラミングの基本を身につけていくこととなります。

今回の研修会は楽しくできましたか？

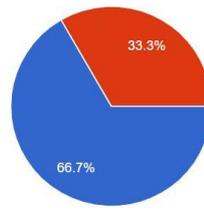
9件の回答



- 楽しくできた
- まあまあ楽しくできた
- あまり楽しくなかった
- 楽しくなかった

今回の研修は今後の実践に参考になりましたか？

9件の回答



- 参考になった
- まあまあ参考になった
- あまり参考にならなかった
- 参考にならなかった

「実践例が多く、基本的な考え方を簡潔に知ることができました」

◆アンケートには、自由記述の欄も設け、様々なご意見等をいただきました。その全ての回答が下の通りとなっています。ご感想、ありがとうございました。

【参加者のご意見・ご感想】

- 1 何も分からないで参加したので、たくさんのことを学べて良かったです。
- 2 とても難しかったです。楽しめる子もいれば苦手意識をもつ子もいるので、気をつけて指導したいと思いました。
- 3 実践しながら楽しく研修できました。
- 4 実践例が多く、基本的な考え方を簡潔に知れて良かった。
- 5 新しい取り組みで現場も教委も手探りな中、これからも情報共有いただけると幸いです。
- 6 実践できてよかったです
- 7 楽しく参加できました。来年度から何をどうはじめたらいいかわからない所でしたので参考になりました。
- 8 教科書に載っているプログラミングの具体例を実際に体験できて良かった。
- 9 実際にマイクロビットに触れることができたのが良かったです。小学校の導入の参考になりました。

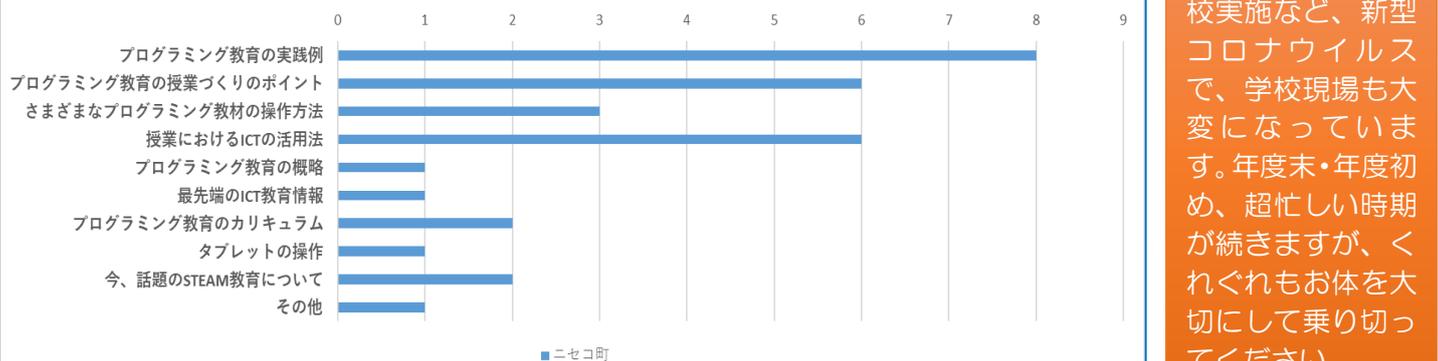
すべての皆様にとってわかりやすい講座にしていきます

◆今回は、大変難しく思われた方がいました。できるだけ参加者お一人お一人の力で解いてもらおうとしていますが、やはりそれぞれの方に合ったアドバイスをしたり、講座の組み立てそのものを修正する必要があるのではないかと考えております。貴重なご意見をいただきましたので、改善させていただきます。

◆どこの会場でも感じることは「明日の実践に役立つことのニーズ」が極めて高いことです。今後とも、現場の声に耳を傾けながら、そして少しでもニーズに応えられるようにしていきます。



【質問】今後どのような研修に参加してみたいですか？ ※複数回答あり



★全道規模での休校実施など、新型コロナウイルスで、学校現場も大変ななっています。年度末・年度初め、超忙しい時期が続きますが、くれぐれもお体を大切にしてください。